

一般質問



むら まつ たかのり
村松 孝師 議員



森町袋井インター通り線を活かした整備

問 広域防災拠点型道の駅およびトラック中継輸送拠点整備についての考えは。

答 沿線は大規模災害など有事の際には、支援物資の受入れや応援部隊の集結場所など広域支援活動の拠点としての適性がある。トラック中継輸送拠点としては、森掛川インターチェンジ周辺や本路線沿線では同インターチェンジに近いエリアがより適している。道の駅については、公営、民営での運営主体や事業収入、維持管理コストに係る事業収支など運営面も重要と考えており、法定手続きや整備手法などの整備面とあわせて検討していきたい。



(都)森町袋井インター通り線(袋井市内より森町方面を望む)

ラーケーション制度導入

問 平日に、子どもが保護者とともに学校外で体験的な学びを行うことを促す制度を導入してはどうか。

答 近隣自治体などの先行事例から本制度が子どもたちの成長や家族関係に与える影響、さらには学校現場への影響などをさまざまな懸念事項を考慮して制度普及の進捗を注視していきたい。

都市インフラとしてのトイレ

問 災害時のトイレ対策用品の普及啓発・備蓄・配布のさらなる充実を図る考えは。

答 災害時の仮設・簡易トイレとして合計961基を確保する計画である。また、自主防災隊からの報告では、約1500基の簡易トイレが備蓄され、地域で使い方の訓練や使用後の処理方法の周知に取り組んでいる。さらに、防災講話やイベントなどで携帯トイレの試供品配布や簡易トイレの使い方の実践を行い、重要性を周知している。今後は、避難の長期化に備え、避難所の上下水道や電気などのインフラが復旧するまでの間、施設内の洋式トイレを避難生活で活用できる方策の検討に加え、市内の事業所や店舗と連携した防災備蓄促進キャンペーンを展開していく。公助の支援体制を



あん ま とおる
安間 亨 議員



充実させ、市民や地域が自助・共助で災害を乗り越えるよう普及啓発を進めていきたい。

問 民間事業者などとの連携による都市公園や公共施設のトイレの新たな管理運営の仕組みの導入についての考えは。

答 公共施設のトイレだけでなく、民間施設のトイレも活用できる環境の確保に向けた取組を行う自治体もあることから、このような対策についても、可能性などを検討していきたい。



簡易トイレ組み立て訓練の様子

市としての物価高騰対策は

問 当初予算に計上した物価高騰対策事業の進捗状況はどうか。

答 4月からは子育て世帯向けに今年度の給食費に対する値上げ分への減免などを実施しているほか、7月から10月までの4カ月間全市民向けに水道料金の基本料金の減免をする。さらに8月からは市公式LINE「メローねっと」登録者に対し、市内店舗などで利用できるデジタルクーポンを配布するとともに、10月からは1冊1万円で購入することで市内店舗などで1万3000円分の利用が可能となる「ふくろい応援商品券第7弾」を開始する予定である。このほかにも、低所得世帯向けの給付金や中小企業等に対する賃上げのための伴走支援も予定している。



ふくろい応援商品券第7弾のチラシ

さらなる子ども・子育て支援を

問 わが市独自の結婚、出産、育児などの支援策の考えは。

答 本年度は新たに地域の子育て支援機関や団体などとの意見交換会を開催し、現場の支援者が抱える課題やニーズを把握し、子育て家庭や子ども・若者を対象に生活上の困りごとや望まれる支援策のアンケートを実施し、現状把握を行っていく予定である。



おお ば まさあき
大場 正昭 議員

